

会 議 録

1 会議名

令和4年度第1回上越市地産地消推進会議

2 議事（公開・非公開の別）

- (1) 上越市地産地消推進の店「プレミアム認定店」認定審査（新規店舗）（非公開）
- (2) 令和4年度の取組について（公開）

3 開催日時

令和4年8月1日（月）午後2時から午後4時20分

4 開催場所

上越市役所第2庁舎 401 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

議事(1)については、「個人に関する事項」を審議するため非公開としました。

7 出席者氏名（敬称略）

- ・委員：湯沢雅彦、勝島勝美、高橋道代、植村孝弘、小森茂、貝沼武徳、田中美恵子
- ・事務局：農政課 栗和田課長、高橋副課長、北山係長、中里主事

8 発言の内容

（1）開会

【事務局：高橋副課長】

- ・配布資料の確認
- ・上越市地産地消推進の店認定事業実施要綱第13条第9項の規定により、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないとあり、7人の委員が出席しているため、会議が成立していることを報告。
- ・本日の会議は、今年度に入り初めての会議となる。事務局においては、人事異動に伴い、新たに栗和田課長が事務局に加わったのでご挨拶する。

【事務局：栗和田課長】

- ・この4月から農政課長となった。前年は、農村振興課長であり、今まで農産物の販売の面で地産地消に携わってきた。
- ・地産地消に関しては、市民はもとより、上越を訪れていただいた皆様からも十分に上越

市の豊かな食の魅力を感じてもらえるように、委員の皆様からのご意見をいただきながら取組を進めていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

【事務局：高橋副課長】

- ・開会に当たり、会長からご挨拶を頂戴したい。

【植村会長】

- ・新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、当職場の職員のシフト調整が大変なところである。皆様におかれても、くれぐれも注意していただきたい。
- ・本日の会議が今年度に入り 1 回目の会議である。前回の令和 4 年 3 月の会議において、プレミアム認定店については、認定まで至らなかったため、今回結論を出せるようご協力をお願いしたい。今回、事務局において、事前に聞き取り調査をしており、それを踏まえてご審議いただきたい。

【事務局：高橋副課長】

- ・本日の会議録は、公開部分のみ、後日市のホームページで公開されるので、あらかじめご承知おきいただきたい。
- ・それでは議事に入る。これより先は、上越市地産地消推進の店認定事業実施要綱第 13 条第 8 項により、会長が議長となると定められているため、会長から議事運営をお願いする。

(2) 議事

①上越市地産地消推進の店「プレミアム認定店」認定審査（新規店舗）（非公開）

②令和 4 年度の取組について（公開）

【植村会長】

- ・次第の「(2) 令和 4 年度の取組について」、事務局から説明願ひたい。

【事務局：中里主事】

- ・資料No.7～No.8 に基づき説明（説明省略）

【植村会長】

- ・事務局の説明に対して各委員からご意見、ご質問等はあるか。
- ・資料No.6 のプレミアム認定店取組報告書の「4 来月使用する上越産品の情報提供」についてはどうか。

【湯沢委員】

- ・資料No.6の小売店用の様式について、3の化学合成農薬や化学肥料の使用を控えて作られた地場産農産物の取扱いの項目で、それが分かるシールを市で作成することは可能か。

【事務局：栗和田課長】

- ・あるるん畑はどうされているか。

【植村会長】

- ・あまり貼ることができない。米については、JAS有機のものに貼っている。

【事務局：栗和田課長】

- ・生産履歴が分からないため、有機の真偽の判断が難しい。

【湯沢委員】

- ・買う側にあまり情報がないと思った。

【事務局：栗和田課長】

- ・仕入れをする際に生産履歴は確認するのか。

【小森委員】

- ・ものによるが、農協で完結するものについては、部会があるものは生産履歴をとっている。しかし、個人の生産者が持ってくるものは信用するしかない。

【植村会長】

- ・生産者が野菜を出すときに、どんな農薬を使っているかが分かる栽培履歴がないと、シールを作ることは難しい。

【湯沢委員】

- ・飲食店等用の様式もそうだが、地産地消推進の店マイスターやプレミアム認定店を目的とした来店回数はなかなか把握できない。

【小森委員】

- ・確かに把握が難しい。お客様アンケートのようなものを設置するしかない。

【事務局：高橋副課長】

- ・地産地消推進の店マイスターの実績として必要になるので、話した・聞かれたことについては、把握しておいていただきたい。

【高橋委員】

- ・地産地消推進の店マイスターやプレミアム認定店を目的とした来店回数の項目について

ては、削ってもいいと思う。

【小森委員】

- ・プレミアム認定店になって、前年より何%来店が増えたかということを知りたいと思う。

【事務局：北山係長】

- ・現在、毎月報告という事務局の意見があるが、どうか。

【湯沢委員】

- ・かなり漠然とした数字になると思う。

【高橋委員】

- ・仕事をしていて現場に出ていると無理である。本当に大まかでいいならば、先月より増えたか減ったか、5段階評価くらいならまだできるかもしれない。人数や回数と言われると難しい。私は料理教室をやっているが、来月8月は、えんぴつなすを使ったなす井をしようと思っているが、一回で10人に伝えたら、その場合のカウントの仕方はどうなるのかということも疑問である。

【小森委員】

- ・アンケート調査のように、大いに増えた・やや増えた・変わらないの3段階評価でいいのではないかと。具体的に何%増えたということは言いづらい。

【事務局：北山係長】

- ・取組報告書については、今いただいたご意見を踏まえて、提出頻度を含め、もう少し事務局で整理させていただきたい。

【湯沢委員】

- ・プレミアム認定店については、いつ頃公式発表される予定か。

【事務局：栗和田課長】

- ・認定却下店に結果を伝え、了承を得た上でという形になるので、少しお時間をいただく形になるかと思う。

【事務局：高橋副課長】

- ・できればお盆前に発表したいということか。

【湯沢委員】

- ・そうしてもらえるとありがたい。

【植村会長】

- ・地産地消推進キャンペーンなどについて、ご意見はあるか。

【事務局：栗和田課長】

- ・時間が迫ってきているので、キャンペーンについては、またご意見があったら事務局にご連絡いただきたい。

【植村会長】

- ・これで議事を終了する。今ほど委員の皆様から発言のあった貴重なご意見は、事務局で今後の地産地消推進事業に反映していただくようお願いしたい。それでは、進行を事務局にお返しする。

(3) その他

【事務局：高橋副課長】

- ・各委員から何か情報提供はあるか。

【全委員】

- ・なし

(4) 閉会

【事務局：高橋副課長】

- ・プレミアム認定店について、時間はかかってしまったが認定できた。委員の皆様のご協力に感謝する。
- ・以上で、第1回上越市地産地消推進会議を終了する。

9 問合せ先

農林水産部農政課

TEL：025-520-5747（直通）

E-mail：nousei@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。